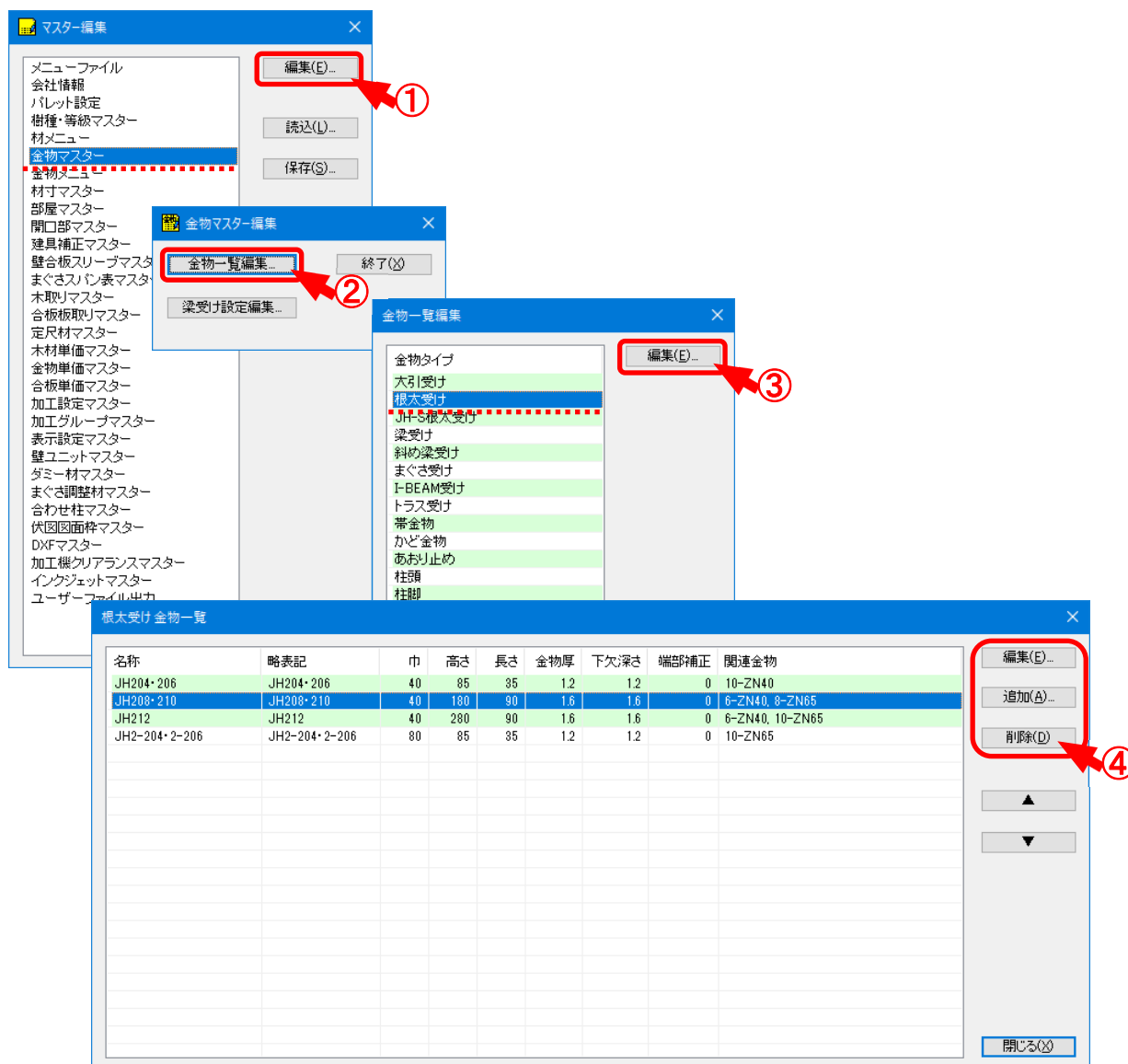


補助—マスター編集—金物マスター／金物一覧編集



金物マスター／金物一覧編集では、使用する金物を設定します。

- ① 〔補助—マスター編集〕の「金物マスター」を選択し、「編集」をクリックします。
- ② 「金物マスター編集」の画面が表示されます。
「金物一覧編集」をクリックします。
- ③ 「金物一覧編集」の画面が表示されます。
金物タイプを選択し、「編集」をクリックします。
- ④ 「金物一覧」の画面が表示されます。
選択した金物の一覧を選択し、「編集」「追加」「削除」を行います。

補助—マスター編集—金物マスター／金物一覧編集

< 根太受け金物 >

金物属性

① 名称 JH208-210 OK

② 略表記 JH208-210 キャンセル

③ 巾 40 mm

③ 高さ 180 mm

③ 長さ 90 mm

④ 金物厚 1.6 mm

⑤ 下欠深さ 1.6 mm

⑥ 端部補正 0 mm ⑩

⑦ 設計寸法でも端部補正する

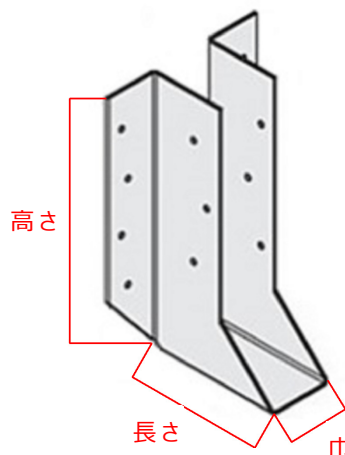
⑧ 吊天根太で壁パネルを無視

⑨ 関連金物

6 - ZN40

8 - ZN65

0 -



- ① 名称：金物名称を設定します。
- ② 略表記：伏図画面に表示する金物名称を設定します。
〔表示－要素〕の「その他－金物名称」にチェックをした場合、略表記の金物名称が表示されます。
- ③ 巾／高さ／長さ：金物のサイズを設定します。
- ④ 金物厚：金物の厚さを設定します。
- ⑤ 下欠深さ：材端部の下欠深さを設定します。
- ⑥ 端部補正：材の端部補正をマイナス値で設定します。
- ⑦ 設計寸法でも補正する：チェックをつけると、〔初期仕様－入力設定〕の「床壁加工－材長計算－設計寸法（クリアランスなし）」を設定した場合でも、端部補正值が加味されます。
- ⑧ 吊天根太で壁パネルを無視：チェックをつけると、金物を配置した材が床根太や床根太ころび止めを相手材として材長が決まります。
※ 吊天根太が上枠や頭つなぎに干渉する場合でも、床根太や床根太ころび止めまで伸びます。
- ⑨ 関連金物：金物に使用する釘の本数と名称を選択または直接入力で設定します。
〔金物一覧編集〕の「釘」に設定した名称が選択できます。
〔積算－金物積算実行〕で積算されます。
- ⑩ 金物形状を「◀」「▶」で選択します。
選択した金物形状で構造パースが表示されます。
構造パースは〔表示－構造パース、範囲構造パース〕で表示できます。

補助—マスター編集—金物マスター／金物一覧編集

「吊天根太で壁パネルを無視」設定の端部補正

